

令和5年度社会福祉法人えぼっく事業報告書

1 はじめに

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、令和5年5月8日から季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行したことにより、4年ぶりに通常時の利用者の支援・介護・相談の活動の体制に戻りました。

4年ぶりに職員全員による研修会・交流会をホテルエミシアで開催しました。また、えぼフェスタ2023を一般市民の方にもたくさんの来場をいただき開催することができました。

平成19年4月より、社会福祉法人輝美福祉会にて行ってきた認知症対応型共同生活介護について、平成28年4月に法人合併に伴いえぼっくで事業を引き継ぎ行ってきましたが、入居者減少に伴い、令和6年3月31日付で事業を廃止しました。ほこしあのスペースについては、改修をして障がい者用グループホームとして令和6年3月に再スタートしました。

5年度も物価高騰、水光熱費の値上げ等が続き、法人運営をめぐる経営状況は非常に厳しい状況でありました。しかしながら徐々にではありますが、障がい者グループホームによる増収はもちろんです。コロナ禍に事業縮小していた短期入所、日中一時支援等地域の障害児者からのニーズの高いサービスについても再度力を入れて取り組みはじめました。まだ道半ばの状態ですが、法人内の各種障がい福祉サービスの利用相談窓口が各関係機関や市民からの問い合わせ等に対応し、法人内サービス利用の調整等が以前よりスムーズにできるようになりました。

人材確保、育成、福利厚生においては、子育て中の職員の働きやすい環境づくりとして、法人独自の有給の看護休暇制度を設けました。また、新規採用については、マイナビ等のツールを活用して積極的に人材確保をすすめ、相談職、事務職の採用につながりましたが、支援職の新卒の人材確保については、応募がなく、支援職は中途採用者と外国人従業員の採用で人員確保につとめました。令和6年3月31日現在、従業員数は114名のうち17名が外国人従業員となり、今後もこの割合は増加が見込まれます。外国人従業員の採用についても引き続き力をいれていきます。

令和3年度まで3か年にわたり進めたグループホームの新設やほこしあの大規模改修による本部事務局の整備をふまえ、令和4～5年度はさらなるステップにむけての内部体制づくりの時期として位置づけてました。体制づくりも徐々にすすみました。

利用者からのニーズの高いグループホーム等の新規事業の計画作成には、着手できませんでした。建設費の高騰が続いており、これまで以上にコストがかかり、事業の精査が必要です。一方、総合相談窓口への利用希望の問い合わせは多くあり、グループホーム等のニーズは依然として高く、令和6年度以降の継続検討課題になりました。

コロナ禍、人と人とのふれあいや接点が大きく減りました。もう一度、原点に立ち返り、利用者に「愛情」をもって接すること、ちょっとした「気配り」や「気にかける」ことができることを掲げました。どうしても、この部分については不十分なところもまだまだありました。これも継続課題です。

2 地域生活支援センター（ともっと・あざれあ・てとる）

2-1 ともっと

<共同生活援助>

- ・令和5年度の入居退去及び現員数（3月31日現在）
入居3名（きらっと2名、ともっと2号館1名）、退去0名
現員数 52名（定員53名）
- ・札幌養護学校白桜高等学園、南幌養護学校、伊達高等養護学校、札幌伏見支援学校もなみ学園分校、真駒内養護学校と令和5年度以降の卒業生の進路について情報交換した。住まいや作業所、日中支援の場に関する相談、ショートステイや行動援護、通学支援に関する相談が多く見られた。
- ・宿泊を伴う旅行を6件実施した。

| 日時 | 旅行先 | 参加者 |
|-----------------------|------------------------|-----|
| 令和5年 6月1日（木）～2日（金） | 函館・江差方面 | 13名 |
| 6月13日（火）～15日（木） | 東京ディズニーランド・ディズニーシー | 4名 |
| 8月19日（土）～20日（日） | グランピング（F VILLAGE 内オルパ） | 10名 |
| 9月13日（水）～15日（金） | 東京・横浜方面 | 4名 |
| 10月13日（金）～14日（土） | 登別温泉 | 7名 |
| 11月27日（月）～29日（水） | 東京ディズニーランド・ディズニーシー | 3名 |

- ・令和6年1月7日（日）に、北広島市として、初の試みであるエスコンフィールド HOKKAIDO での「成人を祝う会」が開催され、二十歳を迎えた利用者1名が出席した。
- ・地震、洪水など自然災害や夜間帯を想定した避難訓練を実施し、ホーム内の避難経路の確認、避難所へ実際に避難し経路を確認するなど、防災に対する意識を高めた。また、職員は通報訓練や消火訓練を行い、緊急時の対応が確実に取れるよう訓練した。
- ・職員の自己研鑽、支援技術向上を目的に、職員会議で自己研修発表会を実施した。
（糖尿病と肝臓について、コミュニケーション研修、居宅介護サービスについて、ワークライフバランスについて、筋ジストロフィーの方への関わりについて、など）

2-2 てとる

<居宅介護・重度訪問介護・行動援護・移動支援>

- ・令和5年度サービス提供数（1,094件）
行動援護（258件）、通院等介助（身体介護を伴う）（214件）、通院等介助（身体介護と伴

う) (26 件)、通院等乗降介助 (2 件)、重度訪問介護 (300 件)、移動支援身体介護有り (239 件)、移動支援身体介護無し (54 件)

- ・総件数は前年比 1.2 倍、サービスごとに見ると行動援護は 1.4 倍、通院等介助は 1.7 倍、移動支援は 1.2 倍となっている。行動援護受講者の増員、歯科・皮膚科など重点的に健康管理を行ったこと、ご本人やご家族と行先や内容について相談し、余暇支援を提供した。平日の買い物支援の要望に応え、提供件数も増加した。
- ・南幌養護学校や札幌養護学校共栄分校への通学支援を継続的に実施した。
- ・グループホームご利用者を中心に通院を実施し、通院等介助や福祉有償運送サービスを利用して頂いた。病院までの移送、健康状態の確認をして家庭やグループホームと健康状態や通院スケジュールについて連携した。

2-3 あざれあ

<特定相談支援・障がい児相談支援>

- ・登録者は 88 名で、計画作成延べ 57 名、モニタリング作成延べ 164 名となっている。
- ・主な対象は、北広島市内の障がい児者とえぼっくご利用者で、法人内各事業所との連携や北広島市内の他事業所との連携を図るよう努めた。
- ・モニタリング時期や必要に応じてケア会議、サービス調整会議等を開催し、ご利用者の現状把握、支援の方向性について確認し、また各関係機関との連携もより強化できた。

3 ホホエム

3-1 ホホエム

<生活介護>

- ・一人ひとりへの支援の内容においては、作業や活動での大枠での支援内容は見直すことが出来たが、個別の支援の方法のマニュアルに基づいた統一的支援については十分できなかった。
- ・ホホエム内の 1 階、2 階の活動室を使い、個々の障がいの特性や作業内容に応じて個別のブースを活用し、創作活動のグループ化を図り、シュレッダー、お面作り、手芸、小物作り、紙すき、ワークなどの活動提供を行った。
- ・日中活動の中で、ご利用者が書いた絵や作品を素材にし、令和 6 年えぼっくのカレンダーのイラストとして活用し制作・販売を行った。
- ・ご家族やご本人より、通所中に入浴希望があり、引き続き入浴が実施できるよう調整を行い実施した。(現在 1 名)
- ・活動スペースの見直しを図り、個別ブースや作業空間を分けるなど作業環境の見直し、現在行っている小物制作の手順書 (マニュアル) を作成し、制作過程の統一を図った。

<就労継続支援 B 型>

- ・喫茶れざみでは、開店前の時間を使い、挨拶の練習などに取り組んだ。積極的にオーダー取りや食事を運ぶなどの接客業務、スープ・ドリンク・サラダ作りなどの調理業務、店内清掃と一緒に取り組んだ。

- ・喫茶れぞみでは、制服導入を行い、デザインからご利用者と一緒に決めた。
- ・物価高騰の煽りを受け、メニューや調理工程、価格帯の見直しを図った。

<余暇活動等>

| 日時 | 内容 | 実施場所 |
|--------------|------------|-----------|
| 令和5年4月27日(木) | お花見ドライブ | 栗山公園 |
| 5月3日(水) | お花見ドライブ | 恵庭白扇の滝 |
| 5月5日(金) | お花見ドライブ | 北広島ふれあい公園 |
| 8月11日(金) | 水遊び | ホホエム |
| 10月26日(木) | 花壇・畑作り | ホホエム |
| 11月3日(金) | じゃがいもクッキング | ホホエム |
| 11月23日(木) | 紅葉ドライブ | モエレ沼公園 |
| 令和6年2月23日(金) | 雪遊び | ホホエム |

3-2

<短期入所>

- ・通所ご利用者や北広島市近郊のご利用希望がある方に対応し、新規利用者1名が利用開始となったが、通所利用の方で定期利用の方3名がグループホーム入居利用となり延べ利用が伸び悩んだ。
- ・令和4年度利用者延べ人数 847名 令和5年度利用者延べ人数 802名

3-3

<日中一時支援>

- ・生活介護ご利用者向けに、生活介護開始前・終了後に一時支援を実施した。
ご家族と現在の利用状況を確認し利用時間や利用日数の見直しを図った。
- ・生活介護ご利用者(5名)向けに、生活介護利用後に入浴も含めて継続して実施した。
- ・相談事業所と連絡を取り、1名が新規で利用開始となった。
- ・令和4年度利用者延べ人数 85名 令和5年度利用延べ人数 422名

3-4

<認定就労訓練事業(法人独自事業として、ホホエムで実施)>

- ・令和5年度は実施なし

3-5

<5年度の新規利用及び契約終了状況>

- ・新規 2名 契約終了者 1名 令和6年3月31日現在
生活介護定員 30名 利用者数 41名
就労継続支援B型定員 10名 利用者数 8名 合計 49名

4 ハニカム

4-1

<生活介護>

- ・作業内容として、仕上げた紙すきを用いて、ハガキやポチ袋、メモ帳などを作成した。また、レジンで小物作り、アイロンビーズで時計などを作成し、近隣の花農家から提供いただいている水苔の袋詰めなども行った。作成した商品は、れざみやえぼフェスタ、北広島駅で開催しているふゅーるで販売する事ができた。しかし、新たな販路の開拓には至らず次年度へ持ち越しとなる。
- ・日中活動では個々のニーズや体力維持を目的とし、散歩や町内の地域資源を活用して体を動かす活動を取り入れたが、個別の対応が不十分であった為、次年度の課題となる。

<余暇活動等>

| 日時 | 内容 | 実施場所 |
|-------------|----------------|--------|
| 令和5年5月3日(水) | お花見 | モエレ沼公園 |
| 5月5日(金) | お花見ドライブ | 岩見沢バラ園 |
| 11月3日(金) | ジャガイモでお好みクッキング | ハニカム |
| 12月25日(月) | 年末お楽しみ会・リース作り | ハニカム |
| 令和6年1月5日(金) | 初詣 | 南幌町神社 |
| 3月4日(月) | ひな祭り・クレープパーティー | ハニカム |

4-2

<日中一時支援>

- ・通所利用者以外の利用はなかったが、生活介護前後の日中一時支援をおこなった。
- ・令和5年度利用者延べ人数 21名

4-3

<認定就労訓練事業(法人独自事業として、ハニカムで実施)>

- ・令和5年度は実施なし

4-4

<5年度の新規利用及び契約終了状況>

- ・新規契約者 0名 契約終了者 0名 (令和6年3月31日現在)
- ・生活介護定員 30名 利用者数 25名

5 グループホームほこしあ

5-1

<認知症対応型共同生活介護>

- ・個別ケアの充実のため、職員会議において個々のニーズについて議論し、ケアプランに反映させ職員全体で統一したケアを実践した。
- ・看取りに関する指針やマニュアルを整備し、看取りに対する方向性を定めた。
- ・運営推進会議を開催し、今後のサービス向上のため、取り組みや事業所の課題などについて意見を募った。
- ・虐待防止及び身体拘束に関する委員会、研修会を実施し、ケアの振り返りを行い防止に努めた。また、職員会議において、不適切ケアについて議論し、対策を講じた。
- ・感染症や災害時のBCPを確立し、非常時に備えた。
- ・日々の健康管理と関係医療機関との連携で、入居者の健康維持や予防に努めた。

<運営推進会議>

- 第1回 令和5年6月21日(水)
- 第2回 令和5年8月23日(水)
- 第3回 令和5年10月18日(水)
- ※第4回以降書面報告での実施

<ほこしあの行事>

| 開催日 | 催事等内容 |
|--------------|---------------|
| 令和5年4月26日(水) | 誕生日会 |
| 7月26日(水) | 誕生日会 |
| 8月4日(金) | ほこしあ夏祭り |
| 8月7日(月) | 七夕祭り |
| 8月12日(土) | 誕生日会 |
| 9月18日(月) | 敬老祝賀会 |
| 9月23日(土) | 誕生日会 |
| 10月27日(金) | 誕生日会 |
| 10月31日(火) | ハロウィーン・鍋パーティー |
| 11月30日(木) | 誕生日会 |
| 12月28日(木) | 年末お楽しみ会 |
| 令和6年1月1日(月) | 誕生日会・新年を祝う会 |

<5年度の入居・退去及び入居状況>

- ・新規入居 1名 退居 15名 3月31日現在入居者数 0名

5-2

<認定就労訓練事業（法人独自事業として、ほこしあで実施）>

- ・令和5年度は実施なし

6 八丁平共生型センターはっち

6-1 ろぐらん

<生活介護>

- ・エアコン設置や、キッチン改修などの事業所内の環境整備を行い、支援しやすい環境・支援提供へつなげられた。
- ・今年度はより統一した支援、よりふさわしい支援について、あらためて支援内容の振り返りを行った。

また、支援計画と連動した記録の書き方や情報共有を重要視し、事務所内の環境整備や書類の整備と業務分担を明確化し、安定した支援提供につなげた。

- ・自閉症や行動障害等への理解を深めるため、障がいの特性に合わせた対応について、随時話し合いを行い、今後も継続が必要である。
- ・株式会社シーポーと代表取締役松本氏による、身体介護技術研修の継続と、新しい職員とともに、研修の振り返りと互いに習得した技術の確認を行った。そのため、今後も介護技術の維持・向上、全体の底上げとなるような意識の改善が課題となった。
- ・医療的ケアの必要な利用者に対し、看護師と3号研修修了者による医療的ケアを適切に行った。また、新たに3名が3号研修に臨み、医療的ケア対象者全員に対応できるよう、順次、実施を進めた。
- ・自閉症や行動障がい等への理解を深めるため、障がいの特性についての確認と特性に合わせた対応について、随時話し合いを行った。

6-2

<5年度の新規利用及び契約終了状況>

- ・新規 3名 契約終了者 1名 令和6年3月31日現在
生活介護定員 20名 利用者数 18名

6-3 らんらん

<居宅介護・重度訪問介護・移動支援>

- ・らんらんでは、があだばーと入居者の利用増の希望に対応するため、重度訪問介護の支給決定量の増加を、室蘭市や計画相談事業所との話し合い等を行い支給量増となった。支給決定量が増となったため、対応人員を増やすことにより利用時間増となった。
- ・重度訪問介護の移動加算については、現在の利用者の希望に対応した。
- ・他の居宅介護利用者に関しては、特に変化はなく、居宅、家事支援、移動支援等、前年度と変わらない利用頻度だった。
- ・移動支援については、新規利用はないが、現在定期的に利用の希望に対応した。

7 きたひろしま暮らしサポートセンターぽると(北広島市委託事業)

7-1

<自立相談支援事業>

- ・新規相談件数は114件で、継続支援件数は634件、終結件数は134件。
- ・支援プラン作成は66件、就労者数は26名、増収者数は4名。支援件数は面談867件、電話2617件、訪問828件、同行支援225件、関係機関との連携は2,090件となっている。
- ・相談内容件数(重複あり)は、家計に関する支援が3305件、就労に関する支援1735件、住まいに関する支援が1651件、不安解消の支援が774件、家族関係に関する支援が601件、福祉制度に関する支援が569件、病気障害に関する支援が533件となっている。
- ・住居確保給付金の新規申請相談のべ件数は66件、そのうち申請者が20名、支給決定者が18名となっている。
- ・新型コロナに関する制度(特例貸付)の償還について、相談者の個別の事案に応じ、猶予あるいは免除の手続きを現在も継続して行っている。
- ・土曜相談(午前一般相談)対応者数50件。そのうち新規相談者は4名。

7-2

<ひきこもり相談>

- ・令和5年度も土曜相談にひきこもりに特化した時間帯を設け、ライン受付のシステムを取り入れ、市の広報誌に掲載して周知を行った。
- ・令和5年度のひきこもり新規受付数は10名。初回相談受付方法は、来所2件、電話3件、ライン3件、関係機関から情報提供あり自宅訪問が2件だった。そのうち当事者からの相談は4件、家族からの相談(両親や姉)は6件だった。家族からの相談ののち本人につながる事ができたのが4件。母と本人がともに初回面談に突然来所されたケースが1件あった。
- ・新規相談者のうち、すべての相談者に就労準備支援事業の情報提供を行った。そのうち事業利用につながった方が3名、一般就労へつながったのが2名、福祉的就労への相談につながった方が1名。

7-3

<家計改善支援事業>

- ・家計に課題を抱える相談者の相談に応じ、家計収支状況を見える化し、相談者の対処意欲を引き出せるよう支援を行った。
- ・相談者実人数60名、家計改善支援プラン作成件数54件。
- ・支援内容件数は、家計管理に関する支援は549件、滞納解消・制度利用に関する支援は1482件、債務整理に関する支援は153件、貸付に関する支援は141件、その他の支援(家族間調整、食料支援など)は385件だった。
- ・プラン作成者のうち、家計状況を家計表を用いて見える化することで家計管理の意欲が向上した方12名、収支バランスの改善者が21名、債務の減少が9名、滞納の減少が12名、

その他（増収者 8 名、家族間調整 10 名）

7-4

<就労準備支援事業>

- ・お仕事探しに課題を抱える相談者の相談に応じ、ひとりひとりの状況や目標に合わせた就労準備支援プログラムを作成し、個別支援およびグループ支援を行った。
- ・日常生活自立支援：居場所活動 20 回実施、実利用人数 14 名（そのうち体験利用者 4 名）、農作業 10 回実施、実利用人数 6 名（そのうち体験利用 3 名）
- ・社会生活自立支援：ボランティア活動 53 回実施、実利用人数 8 名（そのうち体験利用 4 名）、除雪有償ボランティア 26 回実施、実利用人数 5 人
- ・就労自立支援（求人検索・履歴書・面接対策） 24 回実施、実利用人数 4 名
- ・認定就労訓練事業を利用した方が 1 名。そのまま雇用へ繋がった。
- ・その他、個別支援として定期面談を重ね、ハローワーク札幌東やジョブガイドへの同行支援、履歴書の書き方、面接練習等の支援も行った。
- ・就労が決まった方が 5 名、就労意欲が向上した方が 7 名、求職活動を開始できた方が 7 名、家族以外と接する機会が増加した方が 5 名となった。

7-5

<学習支援事業>

- ・毎週火曜日 17:00～19:00 に中学生を対象に数学と英語の学習の機会を提供した。長期休み期間（夏休み・冬休み）には自習室を 10:00～12:00 に開催した（開講数は火曜開講 51 回、夏休み 10 回、冬休み 10 回）。その他、イベントや大曲・西部地区にお住まいの方を対象にした出張りらぼを大曲会館で実施した。
- ・生徒は 24 名の登録があり年間の延べ参加人数は 325 名（火曜開講 273 名、夏休み自習室 35 名、冬休み自習室 17 名）であった。
- ・支援員はコーディネーター 1 名（教員 0 名）、学習支援員は 13 名（大学生ボランティア）の登録があり、延べ参加人数は 218 名（火曜開講 181 名、夏休み自習室 22 名、冬休み自習室 15 名）であった。
- ・ZOOM を活用したオンライン学習の延べ参加人数は 23 名であった（火曜開講 22 名、夏休み自習室 1 名）。
- ・長期休みの期間にはイベント企画として、夏休み 8 月 4 日（金）、冬休みの 1 月 13 日（土）には長期休みの自習室を実施した際に昼食を一緒に作るなどして提供した。

7-6

<一時生活支援事業>

- ・住居のない方を対象に、一時的に食住を提供しながら自立にむけて支援。（地域生活支援センター共同住居きらっと内一室）
- ・相談件数は 6 件。仕事を辞め社宅を出なければならなくなった方 1 名、刑務所出所後の行き場がない方が 1 名、火事にあい自宅に住めない状況になった方 1 名、車上生活者 1 名、

家賃滞納があり退去した方 2 名。6 名全員に一時生活支援について情報提供を行ったが、同意がなく利用には繋がらなかった。つなぎ先としては、居住支援業務事業所 2 名、一般賃貸住宅 2 名、知人宅 2 名となった。

7-7

<フードバンクぼすこ>

- ・生活困窮世帯に対し毎週水曜日に食料や日用品の提供を行った。新規相談者の利用世帯数は 53 世帯、年間の利用のべ世帯数は 755 世帯だった。
- ・水曜日以外にも関係機関等から緊急食料支援の要請があった場合にも対応を行った。
- ・フードドライブの活動を、毎週水曜日（北広島市内や札幌市厚別区・清田区のアークスや東光ストア）奇数月の第 3 土曜（法人本部、ぼると）に行い、3,012 kg の寄付があった。生活困窮者の他、地域の福祉団体等への配荷を 27 回行った。

7-8

<無料職業紹介>

- ・仕事を探している相談者と企業との間に入り、相談者には求人情報を、企業には求職者の情報を提供した。無料職業紹介を希望する該当者はいなかった。

8 札幌市障がい者相談関連委託事業の実施

8-1

<札幌市障がい者相談支援・一般相談支援・特定相談支援・障害児相談支援事業>

- ・委託相談については、新規登録者は 77 件。終結ケースが、76 件。終結ケースを除いた登録者数は、496 件。（うち、計画相談支援 186 件、障害児相談 9 件）
- ・訪問件数については、1665 件の実績を上げ、市内 18 事業所で最も多い対応となっている。
- ・計画相談の新規契約数は、20 件。委託相談で対応すべきケースを見極めながら、指定に引き継げる場合は、引継ぎを行い、現在 8 ケースの引継ぎを行っている。
- ・新規で相談を受け付けた件数は、ご本人・ご家族からの相談は、121 件（前年 149 件）。関係機関からの相談は 141 件（前年 121 件）。今年度は、関係機関から相談が多い傾向だった。中でも 8050 の課題やひきこもりのケースが増加傾向となっており、行政や他の関係機関との連携を要するケースも増えている状況である。
- ・厚別区地域部会においては、コロナ禍が明け、参集での研修会を 4 年ぶりに実施。引き続き、事務局として、幹事会・地域部会の円滑な運営を実施している。
- ・新規採用者を中心に、外部研修への参加機会を多く設け、スキルアップを図り、内部研修についても年間計画を立て、実施することができている。

8-2

<地域ぬくもりサポート事業>

- ・イオンのイベントを定期開催する中で、周知活動を実施。少しずつ、サポーター、利用者の拡大につながった活動ができた。
- ・サポーター向け研修も開催し、サポーター同士が交流する機会を設けることができ、日ごろの活動の共有などを図ることができた。また、日ごろからサポーターが活動で不安にならないよう、相談を受けながら、丁寧な対応を引き続き心掛けて対応してきた。
- ・サポーター登録をしている方で、長年活動につなげることができていなかったサポーターの掘り起こしを行い、その結果マッチングにつながった例もあった。

8-3

<札幌市夜間休日虐待通報等受付、緊急受入先調整、一時保護業務>

- ・夜間、休日等の電話受付職員を配置し、通報者からの電話について対応することができた。
- ・新たに対応する職員に研修を実施。対応についての技術向上と職員間で情報の共有を図っている。
- ・虐待による緊急対応例は少なかったが、必要に応じて委託元である市とも協議しながら、電話の対応の仕方について引き続き職員間で情報共有を図りながら対応をしていく。

8-4

<被虐待障がい者の地域生活支援調査研究事業>

- ・令和5年度も引き続き札幌こころのセンターからの受託。長期間にわたり監禁・虐待を受けた後、精神科病院での入院を経て、地域生活を送る被虐待障がい者の回復に向けたアプローチ方法についての調査研究事業を実施した。
- ・事業実施にあたっては、地域支援を実践している他法人とも連携しながら取り組んだ。

9 法人独自公益事業

9-1

<住宅確保要配慮者への居住支援（居住支援業務事業所えぼっく）>

- ・令和5年度居住支援協議会等活動支援事業補助金（補助金額金1,686,606円）を活用し、居住支援活動に取り組んだ。きたひろしま暮らしサポートセンターぼると、相談室ますとびいーと連携を図りながら相談を行い、年間相談実件数は128件、そのうち入居前支援（住居情報提供、住居探しなど）は33件、入居中支援（日常生活サポート）は88件実施した。また入居相談解決件数（住居の契約手続きサポートにより、賃貸契約の締結）は2件の契約となった。
- ・北広島市内での日常生活サポート対象者の情報を早期に把握するため、北広島市、きたひろしま暮らしサポートセンターぼると及び高齢者支援センター等関連機関と連携を積極的に行い、早期に相談者の課題改善に向けた支援ができるように、相互の事業の特徴を生か

した協力体制の強化を進め支援を行った。

9-2

<青色防犯パトロール>

- ・令和5年度においても、北広島市全域の青色防犯パトロール活動をおこなった。市役所から不審者情報の提供があった場合、特にその地域を重点的にパトロールし、不審者の出没の抑制に努めた。また、北海道札幌方面厚別警察署から講師を招いて、令和5年8月31日青色回転灯パトロール講習会を開催した。

<令和5年度実績>

| 月別 | 実施回数 | のべ参加人数 | 備考（パトロール中に得た情報等） |
|--------|------|--------|---|
| 令和5年4月 | 20回 | 40人 | 4/14、4/19市より不審者情報の提供あり |
| 5月 | 20回 | 40人 | 5/15、5/25市より不審者情報の提供あり |
| 6月 | 8回 | 16人 | 6/7市より不審者情報の提供あり |
| 7月 | 7回 | 14人 | 7/3、7/5、7/13、7/18、7/19、7/21、7/25市より不審者情報の提供あり |
| 8月 | 6回 | 12人 | 特に異常なし |
| 9月 | 7回 | 14人 | 9/13市より不審者情報の提供あり |
| 10月 | 6回 | 12人 | 特に異常なし |
| 11月 | 7回 | 14人 | 特に異常なし |
| 12月 | 5回 | 10人 | 12/13市より不審者情報の提供あり |
| 令和6年1月 | 6回 | 12人 | 特に異常なし |
| 2月 | 5回 | 10人 | 2/8、2/19市より不審者情報の提供あり |
| 3月 | 5回 | 10人 | 特に異常なし |
| 計 | 102回 | 204人 | |

10 グループホームほこしあの事業廃止

- ・平成19年4月より、社会福祉法人輝美福祉会にて行ってきた認知症対応型共同生活介護について、平成28年4月に法人合併に伴いえぼっくで事業を引き継ぎ行ってきたが、平成30年をピークに入居者減少に伴い、他事業からの補填で事業を継続してきた。

北広島市内の介護保険事業の展望として、他の法人との競合の中での現状以上のニーズの発掘が困難な状況であり、一方で障がい者のグループホームのニーズは依然として高いことから事業廃止について、理事会、評議員会を開催し、了解を得て決定した。

入居者については、他法人での受け入れを依頼し、家族の協力のもと令和6年2月に完了し、令和6年3月31日付で事業廃止を行った。

11 えぼフェスタ2023の開催

- ・令和5年9月16日にホホエムの敷地内でえぼフェスタ2023を開催した。コロナ禍もあり2020年以来4年ぶりの開催となった。これまでのフェスタとは一線を画し、ご当地アイドルやピエロをお招きしたステージショー、マジックショーや、長沼ハイジ牧場の動物ふれあいブースを企画し、ご協力依頼を行った。飲食、販売ブースではキッチンカー、外国人従業員によるベトナム料理の販売、くるるの杜の出張野菜販売などを行った。

北広島市内全域にチラシを配布し、多くの家族連れが途切れなくお越しになったえぼフェスタを開催することができた。

12 法人全体の職員研修会・交流会の開催

- ・令和5年6月24日に法人の全役職員を対象に研修会と交流会を開催した。研修会は法人顧問弁護士の祖母井里重子氏による「虐待の『芽』を摘むためには」をテーマに虐待防止研修を開催した。普段の支援者目線からの虐待防止ではなく、司法の目線からの虐待防止について学ぶことができた。当日の勤務の職員等もいる中、職員の子供も含めて総勢93名が参加した。

13 利用相談窓口の設置

- ・障がい福祉サービスの利用相談窓口として令和5年度より地域生活支援センターともっと内に設置した。地域の福祉ニーズや課題を把握し、適切なサービスの利用推進、サービス提供数拡大を目的として活動した。十分な周知活動が出来ていなかったが、近隣市の委託相談事業所や相談支援事業所からの問い合わせや、札幌養護学校白桜高等学園、南幌養護学校、伊達高等養護学校、札幌伏見支援学校、もなみ学園分校、真駒内養護学校など特別支援学校の進路指導部より利用についての相談があった。

相談受付からの新規利用実績はグループホーム2件、体験利用1件、短期入所3件、日中一時支援1件、通学支援1件の利用があった。また見学が11件あり、その他年度をまたいで継続している相談が4件あった。

14 人材確保への取り組み

- ・人材確保の方策として、マイナビ2024を活用し、令和5年度は5年度の学生以外を対象としたインターシップ（支援職・相談職・事務職・キャリア職）を設定し、多くの学生にえぼっくの取り組みや事業所の概要などの説明を行った。マイナビのえぼっくに何らかの形で応募は97件あり、そこから見学会や説明会へ結びつけるための方策の検討が課題である。

＜マイナビ2024のイベント等の参加状況＞

令和5年9月4日（月） 就職EXPO秋の陣 26名ブース参加

令和6年3月17日（日） 福祉・介護業界 就職セミナー 17名ブース参加

法人の説明会・見学会 16名参加

| | |
|---------|--------------|
| インターシップ | 支援職コース 1名参加 |
| | 相談職コース 4名参加 |
| | 事務職コース 2名参加 |
| | キャリアコース 5名参加 |

15 人材定着のための取り組み

- ・現在、管理者も含めて、子育てをしながら働いている職員が10名在籍している。その中でも低学年児童や未就学児童を育てながら働いている職員に対し、子の看護休暇を法人独自で、有給、年間最大10日分の時間付与可能な形での手厚い休暇制度にした。

16 ハラスメントの外部相談窓口の設置

- ・ハラスメント行為は法人としても許されることではないという認識のもと、これまでは法人事務局内の内部の相談窓口の設置をしていたが、令和5年12月より、社会保険労務士事務所の外部相談窓口を業務委託で設置した。また設置に向けてハラスメント規程も整理し、全従業員への規程の説明や、外部相談窓口設置の説明を職員会議等で説明を行った。

17 多文化共生推進事業の受託運営について

- ・令和5年4月に北広島市より多文化共生推進事業の業務委託を受託し、令和6年1月31日まで事業を行った。

外国人労働者の受け入れ等に関するセミナー及び相談会の開催、外国人と地域住民との交流や外国人が北広島市のまちづくりに参加する機会を企画し、北広島市における多文化共生の実現に向けた取り組みを行った。

<実施概要>

○外国人雇用セミナー・相談会（14名参加）

日時：令和5年7月21日（金）セミナー 13：30～15：00/個別相談会 15：00～16：00

場所：北広島市芸術文化ホール

セミナーテーマ～日本で暮らして困ったこと、よかったこと

講師 株式会社シーポーと 海外事業部 チュオン ゴク ハウ 様
特定技能制度による外国人雇用の基礎知識

講師 公益財団法人 国際人材協力機構 札幌駐在事務所長
奈良 隆 様

○日本語教室（全10回 合計62名参加）

日時：令和5年8月27日（日）～令和5年10月22日（日）の隔週日曜日 13：00～15：00

場所：広葉交流センター（いこーよ） 交流室 講師 武澤 恭子 様

内容～第1回・第2回 はじめまして友達になりましょう

- 第3回・第4回 お店で困ったときや病気のときの表現を学ぼう
- 第5回・第6回 日本文化体験 季節の行事に参加しよう
- 第7回・第8回 北広島のまちについて調べよう
- 第9回・第10回 日本文化体験 書道体験 書道講師 湊 広仁 様

○外国人のための防災講習会 (25名参加)

日時：令和5年11月3日(金) 13:00~15:00

場所：北広島市役所1階 多目的室1・2

講義内容：防災のお話 命を守るセミナー

講師 早稲田大学人間科学学術院 古山 周太郎 様

○多文化共生まちづくりワークショップ (21名参加)

日時：令和5年12月2日(土) 13:00~15:00

場所：北広島市役所1階 多目的室1・2

講義内容：外国人がくらしやすい街とは

講師 早稲田大学人間科学学術院 古山 周太郎 様

18 各事業所の事故対応状況について

- ・令和5年度は服薬事故がグループホーム、通所事業所で発生した。基本業務についての再確認を発生した事業所で行った。
- ・各事業所において、ひやりはっと事例について職員へ必要性等を職員会議で周知し、報告をするように努め、各事業所において、普段の業務の中での気付きが増えてきた。

<令和5年度の事故等対応報告集計について>

| | ハニカム | ホホエム | ともっと | ほこしあ | はっち | 合計 |
|--------|------|------|------|------|-----|------|
| ケガ・転倒 | 2件 | 0件 | 2件 | 3件 | 2件 | 9件 |
| 物損 | 0件 | 0件 | 5件 | 0件 | 0件 | 5件 |
| 服薬 | 1件 | 4件 | 4件 | 0件 | 0件 | 9件 |
| 苦情・その他 | 0件 | 1件 | 1件 | 0件 | 2件 | 4件 |
| ひやりはっと | 36件 | 11件 | 111件 | 41件 | 21件 | 220件 |

19 各事業所の避難訓練ならびに非常災害に向けた取り組みについて

- ・相談室ますとびいーにおいてはBCP策定し、内容について継続して協議や実際の災害時を想定した訓練を実施した。他事業所は主任会議の中で内容について協議を続け、基本的な内容については整備された。

<各事業所の避難訓練状況>

○ハニカム ～令和5年6月15日(木) 令和5年11月1日(水)

○地域生活支援センター

・あっと ～令和5年6月12日(月)、10月3日(火)

・もっと ～令和5年6月15日(木)、10月2日(月)

・ソレイユ～令和5年5月20日(土)、8月20日(日)

・きらっと～令和5年10月3日(火)、令和6年3月21日(木)

・ともっと～令和5年5月24日(水)、8月29日(火)

・ともっと2号館～令和5年5月19日(金)、8月25日(金)

○ホホエム ～令和5年6月8日(木)、8月28日(月)

○ほこしあ ～令和5年10月31日(火)

○はっち ～令和5年6月13日(火)、11月10日(金)

20 人権擁護・虐待防止への取り組み

- ・身体拘束ゼロへの取り組みとして、ほこしあでは「身体拘束」に関わる研修を行い、身体拘束を伴わない介護の方法について意見交換しながら職員の理解を深めた。
- ・虐待防止への取組みとして、虐待防止委員会が各事業所の職員会議の場で、虐待防止についてのグループワークも行い、職員が支援に関して日々感じていることを意見交換しながら支援の質向上に努めた。

21 理事会の開催

| 日時 | 出席理事 監事 | 議事・報告事項 |
|---------------------------|--------------|---|
| 第1回理事会 令和5年6月6日 (火) | 理事6名 監事2名 | 議案第1号 令和4年度事業報告書(案)について 議案第2号 令和4年度収支決算報告書(案)並びに監査報告について 議案第3号 令和4年度社会福祉充実残額の算定について 議案第4号 理事候補者の評議員会への選任案の提出について 議案第5号 監事候補者の評議員会への選任案の提出について 議案第6号 令和5年度定時評議員会の招集について 議案第7号 経理規程の改定について 議案第8号 金銭管理規程の改定について 報告事項1 理事長の業務執行状況報告について |
| 第2回理事会 6月23日(金) | 理事6名 監事1名 | 議案第1号 理事長の選任について |

| | | |
|----------------------------|--------------|--|
| 第3回理事会 8月9日(水) | 理事6名 監事2名 | 議案第1号 ハラスメント事案の発生について 議案第2号 ハラスメント防止規程の改定について 報告事項1 前回報告以降の道への事故報告について 報告事項2 理事長の業務執行状況報告について |
| 第4回理事会 9月25日(月) | 理事6名 監事2名 | 議案第1号 ハラスメント防止規程の改定について 議案第2号 個人情報保護規程の制定について 報告事項1 理事長の業務執行状況報告について |
| 第5回理事会 10月19日(木) | 理事6名 監事1名 | 議案第1号 グループホームほこしあの事業廃止並びに廃止後の事業計画について 議案第2号 令和5年度第2回評議員会の召集について |
| 第6回理事会 12月18日(月) | 理事6名 監事2名 | 議案第1号 個人情報保護規程の制定について |
| 第7回理事会 令和6年2月16日 (金) | 理事6名 監事2名 | 議案第1号 令和5年度第一次補正予算について 議案第2号 就業規則の改定について 報告事項1 前回報告以降の道への事故報告について 報告事項2 理事長の業務執行状況報告について |
| 第8回理事会 3月22日(金) | 理事6名 監事1名 | 議案第1号 令和6年度事業計画(案)について 議案第2号 令和6年度当初予算(案)について 議案第3号 定款変更認可申請について 議案第4号 定款変更認可申請に伴う、評議員会の開催について 議案第5号 経理規程の改定について 議案第6号 介護福祉士実務者研修受講資金貸付規程の制定について 報告事項1 南幌地区の事業再編について |

22 評議員会の開催

| 日時 | 出席 評議員 | 議事・報告事項 |
|----------------------------|-----------|---|
| 定時評議員会 令和5年6月24日 (金) | 7名 | 議案第1号 令和4年度事業報告書(案)について 議案第2号 令和4年度収支決算報告書(案)並びに監査報告について 議案第3号 令和4年度社会福祉充実残額の算定について 議案第4号 社会福祉法人えぼっく理事の選任について 議案第5号 社会福祉法人えぼっく監事の選任について |
| 第2回評議員会 12月1日(金) | 7名 | 議案第1号 グループホームほこしあの事業廃止並びに廃止後の事業計画の報告について |

| | | |
|-----------------------------|-----------|---|
| 第3回評議員会 令和6年3月25日 (月) | 同意書 7名 | 第1号議案 グループホームほこしあ事業廃止に伴う、定款 変更認可申請について |
|-----------------------------|-----------|---|

23 監事監査の実施

| 監査実施日 | 出席監事 | 内容 |
|--------------|--------------|------------------------|
| 令和5年9月22日(金) | 丸山監事 | 令和5年度第一四半期業務監査 |
| 令和6年1月25日(木) | 丸山監事 | 令和5年度第二四半期業務監査 |
| 2月7日(月) | 上田監事 | 令和5年度第一四半期、第二四半期会計監査 |
| 3月27日(水) | 丸山監事 | 令和5年度第三四半期業務監査 |
| 4月11日(木) | 上田監事 | 令和5年度第三四半期会計監査 |
| 5月30日(木) | 上田監事 丸山監事 | 令和5年度会計監査 令和5年度業務監査 |

24 第三者委員活動の実施

<委員名簿>

今井 明日香 委員(弁護士)

佐々木 明美 委員(北海道ハイテクノロジー専門学校 教育顧問)

松岡 是伸 委員(北星学園大学社会福祉学部 准教授)

| 開催日 | 出席者 | 内容 |
|--------------|-----------------|---|
| 令和5年7月10日(月) | 第三者委員3名 法人職員 | 令和4年度下期各種事故報告、第三者委員より |
| 12月4日(月) | 第三者委員3名 法人職員 | 令和5年度上期各種事故報告、令和5年度の 第三者委員による事業所訪問について |

<第三者委員による事業所訪問>

| 訪問日 | 訪問先 | 第三者委員 |
|---------------|------|-------|
| 令和5年11月17日(金) | ほこしあ | 今井委員 |
| 11月20日(月) | ホホエム | 松岡委員 |
| 11月21日(火) | ハニカム | 佐々木委員 |
| 11月30日(木) | ソレイユ | 松岡委員 |

25 法人内研修の開催

<虐待防止研修>

- ・令和5年4月27日(木) 場所:ホホエム 参加者11名
- 7月20日(木) 場所:ハニカム 参加者7名
- 8月23日(水) 場所:ますとびいー 参加者10名
- 9月19日(火) 場所:ともっと 参加者35名
- 10月10日(金) 場所:はっち 参加者10名

<新採用者研修>

- ・令和6年3月27日(水)、3月29日(金) 参加者5名

<管理者・主任向けハラスメント研修>

- ・令和6年1月16日(火) 場所:法人本部会議室 参加者19名

※ 各事業所へのハラスメント規程の説明会

- 令和5年10月23日(月) ホホエム
- 10月25日(水) ともっと・ぽると・ハニカム
- 10月26日(木) ほこしあ
- 10月31日(火) ますとびいー
- 11月14日(火) はっち

<身体拘束ゼロに向けた研修>

- ・令和5年10月26日(木) 場所:ほこしあ 参加者9名

<八丁平共生型センターはっち介護技術研修>

- ・令和5年4月14日(金)、5月12日(金)、6月20日(火)、8月25日(金)
- 9月29日(金)、10月20日(金)、12月1日(金)、12月14日(木)
- 令和6年1月12日(金)、2月16日(金)、3月22日(金)

<防災研修>

- ・令和5年4月22日(土) 場所:ますとびいー 参加者9名
- ・令和5年10月7日(土) 場所:ますとびいー 参加者11名
- ・令和5年12月9日(土) 場所:ぽると 参加者5名

<計画相談研修>

- ・令和5年11月22日(水) 場所:ますとびいー 参加者8名

<夜間休日虐待通報研修>

- ・令和6年1月6日(土) 場所:ますとびいー 参加者4名

<個人情報保護の取扱いについての研修>

- ・令和5年7月12日(水) 場所:ますとびいー 参加者10名
- ・令和6年1月25日(木) 場所:ぽると 参加者5名

26 各種委員会の開催（別添委員名簿参照）

<感染症対策委員会>

| 開催日 | 内容 |
|--------------|----------------------------|
| 令和5年4月12日（水） | 4月からの感染症対策のQ&Aについて |
| 5月10日（水） | 感染症対策のQ&Aについて |
| 7月1日（水） | 5類になってからの感染時の対応について |
| 10月11日（水） | 最近の感染状況、今後の対応について |
| 12月13日（水） | BCP策定義務化に伴う感染症マニュアルの作成について |
| 令和6年1月10日（水） | 嘔吐物処理対応について |
| 2月14日（水） | BCP計画について |
| 3月6日（水） | BCP計画について |

<えパレット委員会>

| 開催日 | 内容 |
|--------------|-------------------------|
| 令和5年4月14日（金） | 接遇マニュアル、動画の確認、今年の実施について |
| 5月12日（金） | ワクワクワーク、ワークライフバランスについて |
| 7月28日（金） | 接遇動画の確認、次回撮影内容について |
| 10月6日（金） | 動画撮影 |
| 11月17日（金） | 動画の確認、職員アンケートについて |
| 令和6年2月9日（金） | アンケート結果の振り返り |
| 3月8日（金） | 令和5年度の振り返り、次年度に向けて |

<広報委員会>

| 開催日 | 内容 |
|--------------|---------------------------|
| 令和5年5月16日（火） | 4月21日ふゆるイベント報告、広報誌について |
| 6月7日（水） | えぼっく商品の価格について、広報誌について |
| 7月18日（火） | 広報誌について |
| 9月19日（火） | えぼフェスタ2023通信、カレンダーの素材について |
| 10月17日（火） | カレンダー素材、グッズについて、広報誌について |
| 11月7日（火） | 年賀状について、法人の通信について |
| 12月5日（火） | 法人の通信について、北の台バザーの報告について |
| 令和6年2月6日（火） | HP・Facebookの更新状況について |

<虐待防止委員会>

| 開催日 | 内容 |
|--------------|--------------|
| 令和5年5月23日（火） | 令和5年度の実施について |

| | |
|-----------|-----------------|
| 7月25日(火) | ハニカムでの虐待防止研修の報告 |
| 9月19日(火) | ともっとでの虐待防止研修の報告 |
| 11月21日(火) | はっちでの虐待防止研修の報告 |

27 外部研修への参加

| 開催日 | 会議名等 | 参加者数 |
|--------------------|----------------------------------|------|
| 令和5年4月～12月 | 相談支援従事者研修(初任者研修) | 2名 |
| 5月23日(火)・30日(火) | 介護職員初任者研修実技補講 | 3名 |
| 5月25日(木) | JITCO主催ウェビナー有識者会議「中間報告」 速報説明会 | 1名 |
| 6月1日(木)～15日(木) | 第1回行動援護従事者養成研修 | 2名 |
| 6月8日(木) | サービス管理責任者研修 | 1名 |
| 6月8日(木)～9日(金) | 介護職員喀痰吸引研修(第3号研修) | 2名 |
| 7月10日(月) | 令和5年度社会福祉法人監査研修 | 1名 |
| 7月12日(水)～16日(日) | ベトナム視察 | 4名 |
| 7月25日(火) | 雇用管理責任者講習 | 1名 |
| 7月31日(月) | 技能実習責任者講習 | 1名 |
| 8月2日(水) | 技能実習責任者講習 | 1名 |
| 8月4日(金)～11月2日(木) | 令和5年度主任相談支援専門員研修 | 1名 |
| 9月20日(水)～22日(金) | 相談支援従事者研修(初任者研修) | 1名 |
| 10月16日(月) | 苦情解決システム研修会 | 2名 |
| 10月17日(火) | 北広島市障がい者虐待防止研修会 | 1名 |
| 10月20日(金)～21日(土) | 第6回移送サービス運転協力者講習会 | 3名 |
| 11月14日(火)～12月7日(木) | 北海道サービス管理責任者等研修 | 1名 |
| 11月16日(木)～17日(金) | 介護職員喀痰吸引研修(第3号研修) | 2名 |
| 12月8日(金)～9日(土) | 第7回移送サービス運転協力者講習会 | 2名 |
| 12月14日(木) | 石狩振興局 障害福祉事業者等集団指導 | 2名 |
| 令和6年1月18日(木) | 生活困窮者自立支援制度 人材養成研修 | 1名 |
| 2月5日～21日(月) | サービス管理責任者研修 | 1名 |
| 2月28日(水)～3月14日(木) | 第3回行動援護従事者養成研修 | 2名 |

28 寄付の受け入れ

| 受領日 | 寄付者 | 物品等 | 寄付の用途 |
|--------------|-------------------|--------------------|----------|
| 令和5年6月29日(木) | 個人1名 | 現金 1,000円 | 法人の活動のため |
| 9月21日(土) | モチとモフ | 現金 4,700円 | 法人の活動のため |
| 10月18日(水) | 個人2名 | じゃがいも約60kg | 法人の活動のため |
| 12月1日(木) | 個人1名 | ギフトカード 30,000円分 | 法人の活動のため |
| 12月22日(金) | 北海道信用金庫 ひまわり財団 | 現金 50,000円 | 法人の活動のため |
| 12月25日(月) | 南幌町社会福祉 協議会 | 現金 20,000円 | 法人の活動のため |

29 ボランティアの受け入れ

令和5年度のボランティアの受け入れについては、ぼるとの食糧支援の仕分け作業は従来はボランティアを募って行っていたが、5年度は就労準備の活動の一環として実施した。また、えぽフェスタ2023では、6名のボランティアの参加があり、各ブースの対応をお願いした。

30 技能実習並びに特定技能の受け入れ並びに生活支援等

- ・令和5年度特定技能5名がともっと配属となった。
- ・新たに特定技能の職員の採用増に対応するため、北広島市内に社宅を借り上げて、新規の職員採用に対応することとした。
- ・総勢、17名の技能実習生等への生活支援については継続して行った。
- ・令和6年3月31日現在17名が在籍している。国別ではベトナム16名、インドネシア1名で、男女別では男性4名、女性13名となっている。
- ・日本語能力の向上のサポートのために、日本語レベルごとに平日の夜間に日本語学習を実施した。
- ・海外からの従業員受け入れの継続・安定化を図るため、ベトナム現地での技能実習生・特定技能(介護)外国人候補者の面接、家庭訪問、送り出し機関との打ち合わせを実施した。

31 令和5年度えぽっく年間利用実績

- ・別添令和5年度えぽっく年間利用実績参照。